

第三次事業化計画期間中における都市計画道路の整備状況

都市計画道路の整備推移

都内には、現在、延長 3,207km の都市計画道路が計画されていますが、平成 25 年度末時点でその完成率は約 62%であり、平成 15 年度からの概ね 10 年間で 7%増加しました。

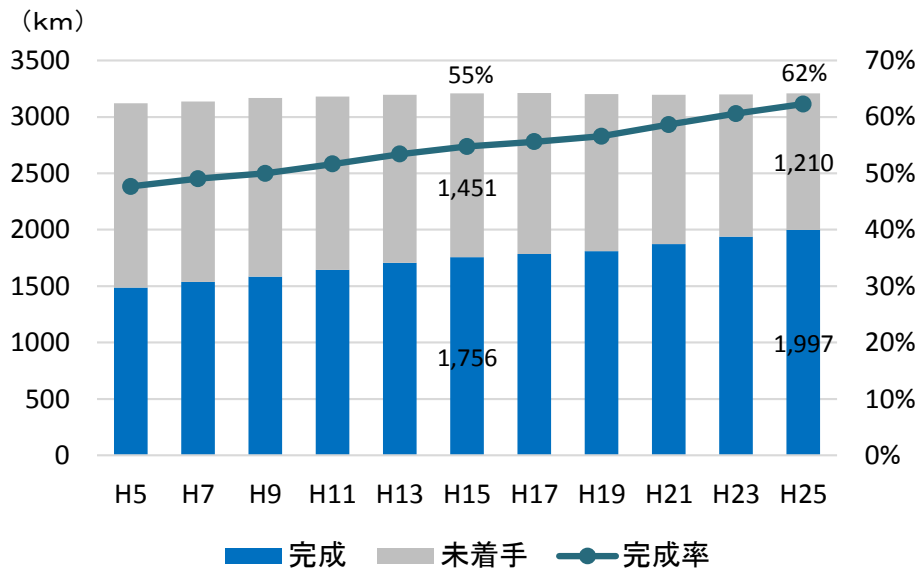


図 都市計画道路の整備推移

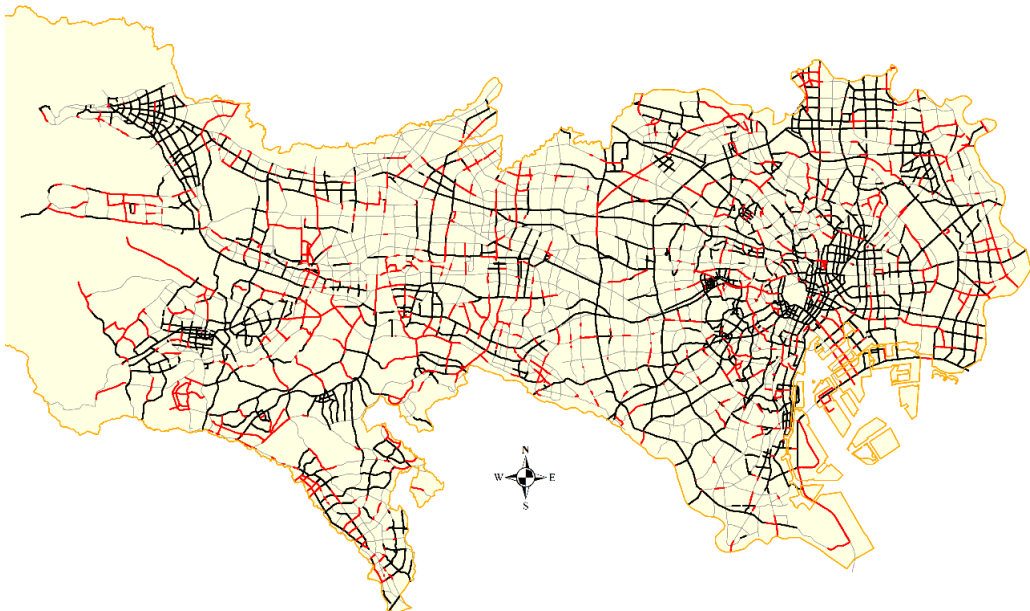


図 第三次事業化計画期間中に完成した都市計画道路
 (※区部は平成 15 年度末時点、多摩地域は平成 17 年度末時点の完成箇所を黒色で、その後、平成 25 年度末までに事業完了 (完成) した箇所を、赤色で着色しています)

都市計画道路の主な整備事例

● 環状第8号線（杉並区井草三丁目～板橋区相生町：平成18年5月供用）

環状第8号線のうち、最後の未開通区間であった練馬と板橋の区間約4.4kmが開通したことで、全線（44.3km）が開通になるとともに、交通利便性の向上や周辺道路の混雑緩和などの効果が得られています。

図-1 環状第8号線全体計画図



図-2 練馬トンネル分岐



図-3 半地下式トンネル



図-4 板橋相生陸橋：架設状況



図-6 整備効果：周辺道路の交通量

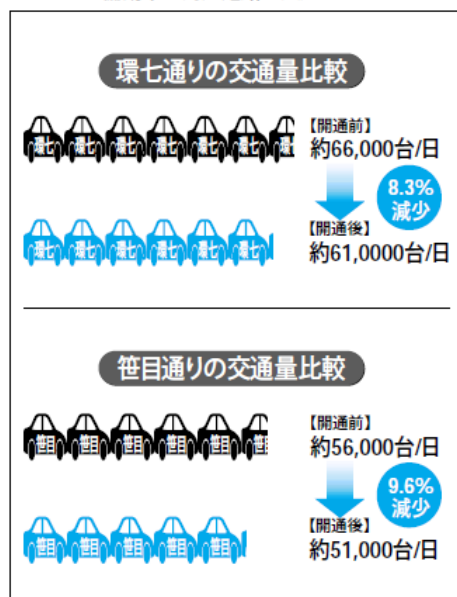
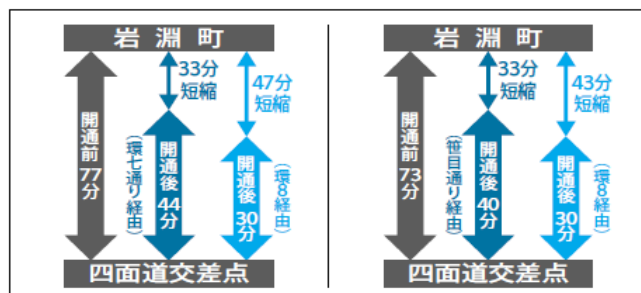


図-5 整備効果：四面道～岩淵所要時間



「環状道路の整備効果～環状第8号線の全線開通（都市と交通 通巻68号 P8、9）」より

● 環状第2号線（新橋～虎の門：平成26年3月供用）

環状第2号線のうち、第一京浜（港区新橋四丁目）から外堀通り（港区虎ノ門二丁目）までの約1.4kmの区間が開通しました。これにより、都心部の道路ネットワークが強化され、周辺交通の円滑化が図られるとともに、沿道まちづくりを誘導するなど、周辺地域の活性化が期待されます。

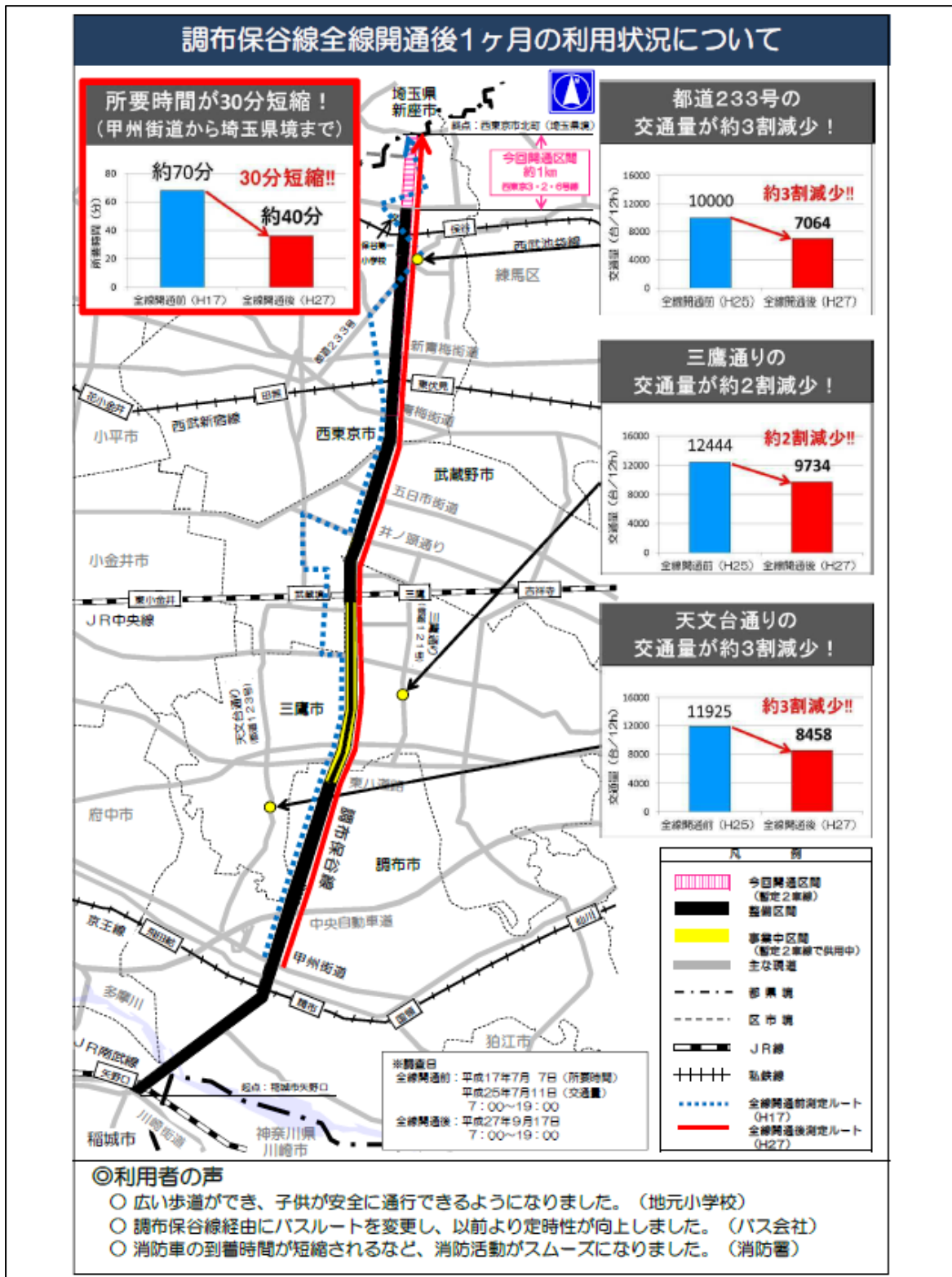
なお、地上部道路は、街路樹や自転車道等の整備が進み、緑豊かで魅力的な道路となっています。



（日比谷通り側から見た地上部道路及び沿道建物の将来イメージ）



- 調布保谷線（西東京市下保谷1丁目～北町〔都県境〕：平成27年8月供用）
 - 多摩南北主要5路線の1つである調布保谷線のうち、西東京3・2・6号線の保谷第一小学校付近から埼玉県境までの約1kmが開通（暫定2車線）したことで、調布保谷線が稲城市矢野口から埼玉県境まで全線で開通しました。これにより、多摩地域における南北方向のアクセス性の向上や、周辺道路の混雑緩和などの整備効果が得られています。



「調布保谷線【稲城市矢野口～埼玉県境（西東京市北町）】全線開通後1ヶ月の利用状況について」ホームページより抜粋
整備状況-4

- 新滝山街道線（八王子市丹木町三丁目～戸吹町：平成25年3月供用）
 圏央道アクセス道路として整備を進めてきた新滝山街道（全長約7.0km）は、平成25年3月に高尾街道から谷野街道までの区間（約2.6km）が開通したことで、全線開通となりました。これにより、高速道路ICへのアクセス時間短縮や、周辺道路の交通渋滞の緩和などの整備効果が得られています。

新滝山街道全線開通による整備効果 【別紙】

案内図

圏央道へのアクセス性の向上

所要時間の短縮

あきる野ICと国道16号間の所要時間

半分に！ 約28分→約14分

（開通前H6）約28分※1
（一部開通H24）約24分※2
（開通後H25）約14分※3

※1 国道411号（秋留橋～左入町）にてH6道路交通センサスから算出
 ※2 国道411号（秋留橋～左入町）にてH24.10に計測
 ※3 新滝山街道（秋留橋～左入橋）にてH25.9に計測

全線開通した新滝山街道

国道411号の渋滞緩和

交通量が大幅に減少

高尾街道～谷野街道区間の交通量変化

一部開通 (H24.10調査)	開通後 (H25.9調査)
9,968	5,013
7,855	4,198
2,113	815
普通車	普通車
大型車	大型車

約5割減

渋滞長の解消

戸吹町交差点(A)における最大渋滞長変化

一部開通 (H24.10調査)	80m
開通後 (H25.9調査)	渋滞ゼロ

地元の方々が効果を実感

あきる野ICへの移動時間が短縮された

①短縮された	85%
②やや短縮された	21%
③変わらない	13%
④やや増加した	1%
⑤増加した	0%
⑥その他	0%

約9割！

※同乗者数=100人
 ※道の駅八王子滝山の利用者へのアンケート結果

国道411号は歩きやすくなった

①良くなった	45%
②やや良くなった	30%
③変わらない	20%
④よくなるから	1%
⑤悪くなった	0%

約5割！

※同乗者数=71人
 ※国道411号の沿道住民へのアンケート結果

バス事業者も効果を実感

- 交通混雑の緩和によりバスの定時性が向上
- 国道411号での大型車同士によるすれ違い時の譲り合い回数が減少
- 運転時の安心感が増した

※国道411号、新滝山街道を走行するバス事業者へのヒアリング結果

「新滝山街道全線開通による整備効果」ホームページより抜粋

整備状況-5